

第1. 事業の状況

1. 平成29年度事業総括表

事業区分	拠点区分	サービス区分・主な事業	主な収入	事業目的・事業内容	
社	法人本部	法人本部	寄附金・繰入金	定款・規程類の整備、給与・人事管理の総括、予算決算及び資金管理・経営の総括、中・長期計画の算定。	
		総合相談室		相談窓口・施設連携・地域活動・相談員支援を主な事業とし、近隣地域の福祉向上に寄与する。	
		研究・研修センター		研究・研修助成事業及び法人職員研修を実施する。	
	慈啓会養護老人ホーム	慈啓会養護老人ホーム	措置費	介護保険収入 利用者負担金収入	原則として65歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		慈啓会養護特定施設入居者介護事業	措置費		原則として65歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		ふれあいの郷養護特定施設入居者介護事業	措置費		原則として60歳以上の札幌市民で、高齢等のため居宅において生活することに不安のある方が入居する。居室：個室(個室、洗面所、便所、収納スペース、調理設備等)、原則自炊
	慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム	ふれあいの郷養護老人ホーム	措置費	介護保険収入 利用者負担金収入	原則として65歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		ふれあいの郷養護特定施設入居者介護事業	措置費		原則として60歳以上の札幌市民で、高齢等のため居宅において生活することに不安のある方が入居する。居室：個室(個室、洗面所、便所、収納スペース、調理設備等)、原則自炊
		ふれあいの郷高齢者生活福祉センター	委託料		原則として60歳以上の札幌市民で、高齢等のため居宅において生活することに不安のある方が入居する。居室：個室(個室、洗面所、便所、収納スペース、調理設備等)、原則自炊
	会	慈啓会特別養護老人ホーム	慈啓会特別養護老人ホーム(従来型)	介護保険収入 利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する(日常生活の世話を重視した生活施設)。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。
慈啓会特別養護老人ホーム(ユニット型)			特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。		
慈啓会短期入所施設(ユニット型)			特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などを行う。		
慈啓会デイサービスセンター(一般型)			ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。		
慈啓会デイサービスセンター(認知症対応型)			在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。		
慈啓会訪問介護			地域包括支援センターの機能を補完する協力機関として、より身近な地域の相談窓口となり、連携協議して介護予防サービスを行う。		
慈啓会介護総合相談センター			地域包括支援センターの機能を補完する協力機関として、より身近な地域の相談窓口となり、連携協議して介護予防サービスを行う。		
福	札幌市稲寿園	稲寿園特別養護老人ホーム	介護保険収入 利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する(日常生活の世話を重視した生活施設)。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。	
		稲寿園短期入所施設		特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。	
		稲寿園デイサービスセンター		特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などを行う。	
		稲寿園訪問介護		ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。	
		稲寿園介護総合相談センター		在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。	
社	札幌市菊寿園	札幌市菊寿園(軽費老人ホームA型)	委託料	60歳以上の札幌市民で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入居する。(所得制限あり) A型：食事付/B型：自炊	
	札幌市拓寿園	札幌市拓寿園(軽費老人ホームB型)		60歳以上の札幌市民で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入居する。(所得制限あり) A型：食事付/B型：自炊	
社	慈啓会老人保健施設	入所療養介護	介護保険収入 利用者負担金収入	病状が安定し、看護・医学的管理の下で介護及びリハビリテーション等を提供し、家庭復帰ができるように支援する療養施設。	
		短期入所療養介護		老人保健施設にて、短期間入所しながら、看護・医学的管理の下で介護や機能訓練を行う。	
	通所リハビリテーション	老人保健施設にて、理学療法士や作業療法士等によるリハビリテーションを中心とした日帰りサービスを行う。			
	慈啓会病院	慈啓会病院	診療報酬 利用者負担金収入	傷病者のための科学的でかつ適正な医療を行う。診療科目：内科、老年内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、精神科、リハビリテーション科、放射線診断科	
啓明ともいき保育園	啓明ともいき保育園	保育所運営費収入 利用料収入	就労等の理由により保育に欠ける生後5ヶ月から小学校入学前の乳幼児の一人ひとりが、心身ともに健康で、たくましく、思いやりのある子どもに育つ保育と保護者や地域との連携を深めて子育ての楽しさを伝える。特別保育事業として、延長保育事業と一時保育事業を行う。		
公	第2地域包括	中央区第2地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。	
		中央区第2介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。	
益	第3地域包括	中央区第3地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。	
		中央区第3介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。	

2. 法人本部

I 基本方針

- (1) 総務部・事業部・福祉部3部体制の定着を図り、各施設・事業のバックアップを行った。
- (2) 法人職員の意識・資質向上に資する諸施策を実施し、向上に努めた。
- (3) 法人経営資源を有効活用するとともに経営基盤の強化を図った。

II 重点項目

<経営全般>

- (1) 理事会・評議員会の開催～理事会7回、評議員会2回開催した。
- (2) 経営理念・基本方針を職員およびご利用者様への周知徹底を行った。
- (3) 法人の経営改善（法人本部機能強化を含む）に向けた事務・事業の見直しおよび推進として、経費削減、収入強化策、広報活動の強化に努めた。
- (4) 法人内各施設の相互調整および関係団体等との連絡調整に努めた。
- (5) 社会福祉法人改革に向けての対応として、就業規則の一部改正等を実施した。
- (6) 地域貢献・生活困窮者支援等公益的な取り組みの強化を継続実施した。
- (7) 平成30年度介護報酬・診療報酬同時改正に向けての対応策を随時検討した。

<経理・財務>

- (1) 予算・決算および決算見込に係る調整を随時実施した。
- (2) 助成金・借入金等の確保および借入金の返済・償還に係る調整を行った。
- (3) 幹部職員の財務・経営分析セミナー実施～平成30年1月26日開催した。
- (4) 経理・会計事務の質向上と効率アップを行った。

<職員処遇>

- (1) 法人職員の任用、処遇に係る調整（人事考課制度の見直しを含む）を行った。
- (2) 職員の福祉厚生
 - ①永年勤続職員の表彰～10年、20年、30年対象者計12名を表彰した。
 - ②福利厚生事業への助成～職員親厚会への助成他を実施した。
- (3) 労働安全衛生管理
 - ①統括衛生委員会活動～毎月委員会を実施した。
 - ②職員健康診断の実施～一般検診、特殊検診、腰痛検診を実施した。

<第三者評価>

- (1) 法人における第三者評価制度への取組を継続して実施した。

<コンプライアンス>

- (1) 倫理綱領、法令順守要領の徹底～倫理綱領の周知徹底と新人教育を実施した。
- (2) 職員による相互内部監査の拡充～定期内部監査を2回実施し監査スキル向上に努めた。

<広報・情報開示>

- (1) 広報・PR活動の強化による法人イメージの向上～法人広報誌を発行した。
- (2) ホームページの運用・活用の強化～随時見直しを実施し強化に努めた。
- (3) 情報開示の推進（閲覧場所の確保等）～ホームページを活用しての情報開示を実施した。

<総合相談室・研究研修センター>

- (1) 総合相談業務の体制強化を行った。
- (2) 研究研修センター機能・ともいき助成事業の充実を行った。

3. 総合相談室

(1) 相談受付

①総合相談件数

方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計												
電話(直通)	59	59	40	40	79	77	30	29	26	26	102	101	139	139	59	57	62	56	96	96	88	88	80	78	860
来訪		1			2				1	2															6
その他	1				1				60	79	93	118	170	189											711
総数	60	41	79	33	26	102	200	140	155	214	258	269	1577												

*その他は郵便、メール、留守電等

②相談内容(複数入力可)

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	1	2	1	4	6	3	2	3	0	1	4	1	27
慈啓会病院	2	1	3	3	2	2	1	2	10	0	1	4	29
老健	0	1	1	1	1	3	3	2	1	1	2	0	16
養護	2	3	3	1	3	1	2	0	0	0	1	1	15
軽費	2	4	3	1	2	1	1	0	0	0	0	1	13
予防センター	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
居宅	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
包括	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
ショート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所サービス	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	3
ヘルパー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問リハビリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援ハウス	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
法人外施設紹介	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	56	35	67	23	13	96	193	133	143	212	253	263	1431

(2) 見学案内

実施件数：15件

見学者総数：146名

韓国老人長期療養機関協会、稲寿園実習生、山鼻地区民児協委員、北海道大学留学生

韓国ハマン郡議会議員、認知症介護リーダー研修、社会福祉法人北桑会

市民の見学希望者、北海道文教大学作業療法学科学生、北星学園大学学生

(3) 会議参加

	会議名	出席回数		会議名	出席回数
本部	役員会	6	病院	地域連携室会議	173
	月例会	11		ベッドコントロール会議	190
	経営会議	9			
	人事考課委員会	2	老健	入所判定会議	20
	後援会・研修会	1			
特養	入所判定会議	8	稲寿園	入所判定会議	11

(4) 会議開催

苦情解決第三者委員会	2
理事長スポーツ大会会議	2
相談員連携会議	5
旭ヶ丘ミーティング	36
ともいきカフェ	5
地域意見交換会	1
プレコミカフェ	1

(5) 連携・調整

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
慈啓会特養	23	25	33	19	24	29	34	30	24	30	27	32	330
慈啓会病院	25	25	31	33	27	32	26	36	26	23	29	44	357
慈啓会老健	8	8	12	10	7	20	14	6	4	10	10	10	119
慈啓会養護	4	3	10	3	1	6	4	8	3	3	4	5	54
稲寿園	1	2	8	2	7	3	8	9	5	2	3	6	56
ふれあいの郷	1	0	7	2	3	1	2	3	1	0	1	6	27
軽費(稲寿園・菊寿園)	2	3	6	2	2	3	0	4	2	0	0	4	28
予防センター	18	13	5	7	2	5	9	9	11	7	5	3	94
居宅	2	0	1	0	1	1	1	4	1	2	1	0	14
包括支援センター	3	2	5	4	9	1	4	6	0	1	1	6	42
在宅サービス	0	0	3	3	2	0	2	3	0	0	3	0	16
保育園	0	0	2	0	2	1	3	2	0	0	1	0	11
法人外施設	18	21	6	15	15	27	19	13	25	45	10	2	216

(6) その他

- ・理事長杯争奪スポーツ大会開催(6月18日)
- ・認知症カフェ開催(4回と出張カフェ1回)
- ・苦情解決第三者委員会開催(2回 6月16日 12月26日)
- ・プレコミュニティカフェ(1回)

4. 研究・研修センター

- (1) 助成事業「さっぽろ慈啓会共生（ともいき）助成事業」
 会議 運営委員会 3回（6月5日、8月4日、1月31日）
 審査委員会 2回（6月15日、2月9日）
 ①平成29年度助成事業
 助成事業公募方法 法人内施設案内、札幌医大、北海道医療新聞、介護新聞、道社協等で告知
 募集応募 6件
 助成決定 6件 申請総額 2,634,000円
 実績報告 6件 助成総額 2,158,650円
 ②平成30年度助成事業
 助成事業公募方法 法人内施設案内、法人ホームページ、札幌医大研究室案内、介護新聞掲載
 北海道医療新聞掲載・北海道社会福祉士会案内・北海道介護福祉士会案内
 課題募集期間 平成30年3月1日～4月30日
- (2) 研修企画
1. 法人研修(全体) 4回6会場
 - ①「ストレスチェックについて」
 講師 札幌慈啓会統括衛生委員会 産業医 宮地 佐栄 氏
 開催日・参加者：平成29年6月8日（手稲）40名 6月15日（旭ヶ丘）95名
 - ②「人事考課の目的と人事考課の活用法」
 講師 (株)吉岡経営センターコンサルティング部 部長 常盤 武志 氏
 開催日・参加者：平成29年7月14日（旭ヶ丘）32名
 - ③感染症「インフルエンザとノロウイルス」
 講師 慈啓会病院ICT委員会 委員長 宮地 佐栄 氏
 開催日・参加者：平成29年10月19日（旭ヶ丘）81名 10月25日（手稲）41名
 - ④「苦情受付とその対応」
 講師 北海道福祉サービス適正化委員会 専門員 相内 淳子氏・岩田 亜希子氏
 開催日・参加者：平成29年12月6日（旭ヶ丘）63名
 2. 基礎研修 2回2会場
 - ①「接遇について」
 講師 フリーアナウンサー・接遇マナー講師 石橋 宣子氏
 開催日・参加者：平成29年5月25日（旭ヶ丘）34名
 - ②「高齢者虐待防止～権利擁護実践について」
 講師 社会福祉法人栄和会 札幌市厚別区第2地域包括支援センター長 石崎 剛 氏
 開催日・参加者：平成30年1月31日（旭ヶ丘）30名
 3. 役職者研修 3回3会場
 - ①「人事制度とトータルな人材マネジメントの推進について」
 講師 (株)吉岡経営センターコンサルティング部 部長 常盤 武志 氏
 開催日・参加者：平成29年7月11日（旭ヶ丘）45名
 - ②「リーダーシップについて」（課長職以上対象）
 - ③「中堅職員が果たす役割について」（課長補佐職以下対象）
 講師 ②③社会福祉法人 札幌慈啓会 専務理事・総合施設長 加藤 敏彦 氏
 開催日・参加者：②平成29年9月19日（旭ヶ丘）28名 ③11月21日（旭ヶ丘）33名
 4. 種別・その他研修 4回4会場
 - ①交通安全講習会「自動車保険のしくみと安全運転の心得」
 講師 東京海上日動火災保険株式会社 金子 剛士 氏
 開催日・参加者：平成29年4月26日（旭ヶ丘）30名
 - ②「認知症の方の世界を理解しましょう」
 講師 慈啓会病院5階病棟看護室 看護主任 認知症ケア上級専門士 新井田 ひとみ 氏
 開催日・参加者：平成29年8月30日（旭ヶ丘）45名
 - ③「人事考課 考課者研修」
 講師 社会福祉法人 札幌慈啓会 専務理事・総合施設長 加藤 敏彦 氏
 開催日・参加者：平成30年1月18日（旭ヶ丘）25名
 - ④「消費税について」
 講師 久保英樹税理士・行政書士事務所 税理士 久保 英樹 氏
 開催日・参加者：平成30年1月26日（旭ヶ丘）26名
 5. 平成29年度 新採用者オリエンテーション（4月3～4日） 64名
- (3) 国内派遣研修・海外研修 ①国内派遣研修 実績なし
 ②海外研修 1件 1名 345,648円
- (4) その他 ①介護支援専門員受験対策講座 1回 参加者2名
 ②第23回札幌慈啓会福祉病院学会 平成29年11月11日 参加者143名
 ③海外研修報告会 平成30年2月20日 参加者16名

5. 慈啓会養護老人ホーム（定員80名）

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者	
		最低	74	最高	86	平均	79.7	入所	退所	慈啓会	その他
男	9	最低	74	最高	86	平均	79.7	1	0	0	1
女	71	最低	71	最高	102	平均	88.9	8	9	8	15
計	80					平均	87.9	9	9	8	16

・在籍率 99.90%（毎月1日現在在籍数） 99.43%（1年間の平均）

(2) 防災訓練実施状況

1. 5月31日
2. 7月14日（夜間想定）
3. 9月20日
4. 11月29日
5. 1月24日

(3) 行事・クラブ実施状況

定例

ストレッチ体操、歌クラブ、すこやか体操、誕生会、大相撲星取大会、園内喫茶、家族交流会、防災訓練、手芸クラブ、折り紙教室、麻雀クラブ、を実施した。

季節行事

買物バスツアー、ビデオ鑑賞会、養護夏祭り、合同夏祭り、盆踊り大会、敬老の日式典、理事長杯スポーツ大会、クリスマス会、年越し会、新年会、獅子舞、書初め、宝引き大会、豆まき、きらく会ゲーム大会等を実施した。

(4) 給食実施状況

給食時間 朝7:40～ 昼12:00～ 夜17:30～ / 毎月の行事食を提供

- ・栄養管理、衛生管理を徹底し、安心・安全な食事作りに努めた。
- ・伝統行事の食事として、入居者より聞き取りを行い、節分に番茶ご飯を取り入れるなどを食事に反映させた。
- ・行事食として、すき焼き会ではADLに応じて会場を設定するなど工夫し、内容を充実させた。

(5) 保健衛生実施状況

定期的な内科医と精神科医の診察。外部からいとう整形外科、平川歯科の往診を依頼し、慢性疾患治療と重度化予防に努めた。

年に2回の健康診断に長谷川式簡易知能評価スケールを加え、より心身の状況把握に努めた。

インフルエンザ罹患患者発生時重病者が出ないように脱水予防等点滴施行し、体調異常の早期発見と対応に努めた。インフルエンザに対するマニュアルの見直しを行った。

(6) 職員研修実施状況

経営者協議会主催北海道・東北ブロックセミナー・社会福祉法人経営実務セミナー、札幌市老人福祉施設協議会主催施設長会議・養護軽費老人ホーム施設長会議、北海道高齢者虐待防止推進研修会（施設編）他

(7) 固定資産取得状況等

金庫・ガス発電機

(8) 主要委員会

事故防止委員会（12回）、身体拘束廃止対策委員会（2回）、感染等対策委員会（12回）、行事委員会（11回）、編集委員会（0回）

(9) 事故発生状況

転倒転落（尻もち）48件（骨折4件）、ずり落ち7件、誤薬2件、誤薬未遂1件、無断外出2件

(10) 苦情の状況等

0件

(11) その他

ボランティア（ストレッチ体操・折り紙教室）、訪問（旭ヶ丘高校、白石幼稚園、歯科学院）

6. 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム（定員100名）

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者	
		最低	70	最高	87	平均	80	入所	退所	慈啓会	その他
男	10	最低	70	最高	87	平均	80	2	3	1	6
女	90	最低	68	最高	102	平均	83	17	16	6	33
計	100					平均	83	19	19	7	39

・平均稼働率 100%（毎月1日現在在籍数） 96.65%（1年間の現在数（入院者を除く）÷（定員×365日））

(2) 防災訓練実施 1. 7月4日 2. 10月17日 3. 12月13日（夜間想定検証訓練）

(3) 行事・クラブの実施状況

- ・行事：園内喫茶（6回）、夏祭り、お施餓鬼法要、敬老会、忘年会、新年会、節分、誕生会（毎月）
理事長杯スポーツ大会、きらく会スポーツ親睦大会、アニマルセラピー（奇数月）、
特養定期演奏会、すきやきの日
- ・クラブ（毎週）：ゲートボール（火曜）、書道（水曜）、カラオケ（第1・3金曜）、転倒予防体操（第2・4火曜）

(4) 給食の実施状況（給食時間 朝 7:30～ 昼12:00～ 夜17:30～）

- ・食の安全性は第一に考え地場産の安価な旬の食品の使用に努めた。
- ・給食の残菜率の削減に努めた。

(5) 保健衛生

- ・入居者向けに外部講師による手洗いの講習会を開催し、入居者ほぼ全員が参加した。正しい手洗い方法を周知するため、全手洗いスペースにポスターを掲示した。
- ・感染予防対策を実施していたが、急性胃腸炎の方が1名発症し、その後数名の罹患者は出たが全て軽症で終息した。インフルエンザ発症者2名（入居者0名、職員2名）が発症するも、単独で施設内感染者はなし。

(6) 職員研修実施状況

- ・法人研修（6回） ・職場内研修（6回） ・外部研修（10回 12名）

(7) 固定資産取得状況等（大規模修繕含む）

- ・今年度はありません

(8) 主要委員会

- ・防災 3回（避難訓練の反省） ・給食 12回 ・事故防止対策 3回 ・研修 1回
- ・行事 4回 ・苦情 0回 ・感染症対策 4回 ・広報 1回
- ・動物介在、環境整備 2回 ・職員会議 12回

(9) 事故発生状況

- ・転倒 6件（内 骨折 2件） ・誤薬 1件

(10) 苦情の状況等 ・0件

(11) その他

①メンタルケア

- ・北海道ボランティアドッグの会によるアニマルセラピーを実施。
- ・慈啓会特養デイサービスで開催している定期演奏会への参加。

②地域との交流状況

- ・町内会との植栽活動 ・地域行事への協賛 ・地域交流センター利用の積極的受入れ
- ・近隣幼稚園との交流
- ・近隣中学校、高校からの職場体験の受け入れ

③ボランティア活動（計58件 延人数：93名）

- （行事手伝い等作業奉仕：27名、傾聴：17名、クラブ活動等指導奉仕：30名、音楽演奏等訪問：19名）

④その他

- ・入居者、職員で地域のゴミ拾い活動を月2回行い、地域貢献や入居者の活性化に繋がった。

【数値目標に対しての結果について】

- ・退所から入所までの平均空室期間目標を、10日未満としたが12.1日となり達成しなかった。
- ・特定サービス収入を年間平均額264万円以上としていたが、302万円となり達成した。
- ・食材費の無駄を省くため、残菜率を5%未満に設定したが5.8%となり目標に達しなかった。

7. ふれあいの郷生活支援ハウス（定員20名）

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者	
		最低	69	最高	82	平均	75.5	入所	退所	慈啓会	その他
男	2	最低	69	最高	82	平均	75.5	1	0	0	1
女	18	最低	65	最高	96	平均	78.72	0	1	1	2
計	20					平均	78.4	1	1	1	3

・平均稼働率 99.58%（毎月1日現在在籍数） 99.69%（1年間の現在数（入院者を除く）÷（定員×365日））

(2) 防災訓練実施（養護と合同） 1. 7月4日 2. 10月17日 3. 12月13日（夜間想定検証訓練）

(3) 行事・クラブの実施状況

- 定例 ・ 懇談会・理事長杯スポーツ大会・開園記念昼食会・コンサート・ゲートボール
 ・ 食糧品等買い物日（毎週1回）・書道・転倒予防体操（毎月2回）
- 季節行事 ・ 端午の節句・夏祭り・敬老の日式典及び昼食会・忘年会
 ・ 新年昼食会・節分（豆まき）・ひな祭り昼食会

(4) 給食の実施状況

入居者 1名（体調不良にて自炊不可の為 29年5月23日から5月29日まで利用。）

(5) 保健衛生

- ・年2回健康診断を実施し、病気の早期発見、早期治療を心がけ健康維持に努めた。
- ・季節型インフルエンザ予防接種を行うほか、冬期間の風邪対策を行なった。
- ・感染症予防のため消毒液の見直しや職員の対応について再検討をし懇談会にて、手指消毒・うがい・マスクの着用等の励行をお話しし感染予防対策を行う。

(6) 職員研修実施状況

- ・法人研修（2回） ・ 職場内研修（6回） ・ 外部研修（0回）

(7) 固定資産取得状況等（大規模修繕含む）

- ・今年度はありません

(8) 苦情の状況等 ・ 0件

- ・ 懇談会や日常のコミュニケーション等で意見・要望を把握し対応しており、意見箱や苦情委員会に寄せられる苦情等は0件です。

(9) その他

- ・ 園芸活動・動物介在活動・地域交流ゲートボール大会・地域交流植栽

8. 慈啓会特別養護老人ホーム（従来型：定員70名）

(1) 利用状況

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)	
		最低	68	最高	94	平均	80.4	入所	退所	慈啓会	その他	4	男
男	9	最低	68	最高	94	平均	80.4	6	11	21	4	男	3.78
女	63	最低	75	最高	103	平均	87.4	22	17	42	9	女	3.94
計	72					平均	86.6	28	28	63	13	平均	3.88

・年間平均稼働率 97.6%（1年間の現在数（入院者・外泊者を除く）÷定員×365日）

(2) 防災訓練実施状況（夜間想定） ①10月3日（4施設合同・防火） ②10月10日（4施設合同・防災） ③3月15日（防火）

(3) 行事・クラブの実施状況

- ①定例行事 定期演奏会（札幌）12回、紙芝居20回、いきいきクラブ11回、イトーヨーカドーふれあいショッピング3回、誕生会
- ②季節行事 御施餓鬼法要（春・秋）、クリスマス会、忘年会、新年会等を実施
- ③地域交流・家族交流会等行事
夏祭り、盆踊り、敬老の日式典および家族交流会等を実施
- ④ユニット行事（買物・食事外出）和食レストラン「とんでん」
（散策外出）伏見神社・動物園・大通公園・水道記念館・ともいき保育園・円山クラス・藻岩山・地下歩行空間・桑園イオン・東急百貨店・幌見峠ラベンダー園・ロイズコーヒー・白い恋人パーク
（室内行事）クリスマス会・おやつ作り・ビンゴ大会・茶話会・ハロウィン・スイーツビュッフェ・屋上日光浴

(4) 給食の実施状況

- ①利用者の身体状態や嗜好等、個々に応じた食事内容となるよう配慮した
- ②季節感のある変化に富んだ食事の提供を行うために、行事食に力を入れた
- ③日々の衛生管理の徹底にて、安全な食事の提供に努めた
- ④業務内容の確認と見直しを行い、業務の効率化を図った

(5) 保健衛生

- ①入所者の体調管理・リスク把握のため、看護業務管理日誌を改訂し、全体把握に努めた。
- ②各フロアの情報を勤務者全体で共有するシステムを作り、健康管理とともに異常の早期発見・対処につなげた。
- ③実施するケアの質を維持するため、業務マニュアルを作成し、安全に実施できるための標準化に努める。
- ④医師との連携を強化し、往診時のリストの作成や、対応手順の決定、外来受診時の対応等早期受診につなげ、悪化を最小限になるよう努めた。
- ⑤看取り介護指針の検討に参画し、各職種と問題点や疑問点明確にし指針に反映させ、診療室看護師及び各職種が行動化が可能となるよう意見を集約した。
- ⑥2、3月に3例の看取りを経験した。

(6) 職員研修実施状況

内部研修では事故防止・感染症・排泄介助・認知症ケア・虐待防止・褥瘡予防に関する講習会等に延べ85名が出席
外部研修には認知症介護実践者研修、老人福祉施設研究大会、社会福祉法人の社会貢献研修会等に延べ53名の職員を派遣

(7) 固定資産取得状況等（大規模修繕を含む）

プライバシー保護改修／その他改修／防犯ネットワークカメラ／電子カルテシステム／ナースコール復旧ボタン／電動昇降式ストレッチャー／リクライニングシャワー入浴装置／中央監視盤装置／非常・業務用放送設備／自動火災報知設備

(8) 主要委員会の実施状況

（定例開催） 職種会議、事故防止・感染症対策・身体拘束防止委員会、給食委員会、褥瘡予防委員会、企画委員会、研修委員会、処遇・認知症ケア・ケアプラン委員会、入所検討委員会ほか

(9) 事故発生状況（ユニット型・従来型合計）

転 倒		転 落		ずり落ち		座り込み		変 色		腫 れ	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
12	62	2	27	0	10	0	8	2	64	2	3
擦り傷		出 血		痛 み		誤 薬		そ の 他		合 計	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
10	15	15	5	0	1	30	1	7	40	80	236

札幌市報告対象の事故

ユニット型	25
従来型	13

A=アクシデント I=インシデント

(10) 苦情の状況等 0件

(11) その他

- ①ボランティア 行事やクラブ活動、お話相手、軽作業等 8団体25個人（活動総人数約1,550人）
- ②世代間交流 大谷幼稚園、白石幼稚園、ともいき保育園の児童による施設訪問、HBC少年少女合唱団のクリスマス交流会
- ③地域交流 札幌医師会コーラスグループ、定期演奏会（毎月：3月から地域町内会からの参加を呼びかけ）
- ④見学 市立大学看護部学生、札幌市新採用職員、北海道カソリックセンター生、介護の職場施設紹介見学ツアー等
中央区西まちづくりセンター56名、桑園民生委員21人
- ⑤実習・体験学習 「認知症実践者研修 1団体14名」「社会福祉士実習 4校4名」
「介護職員初任者研修 2団体22名」「介護職員実務者研修 1団体2名」「中学校職業体験 1校4名」
- ⑥木洩れびの家 地域の住民や団体、施設サービス利用者の交流や散歩途中の憩いの場所等を目的とした活動

【木洩れびの家利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	14	16	10	10	24	13	0	0	9	7	9	5	117
家族	8	7	2	2	6	5	0	0	2	2	3	0	37
職員	9	5	6	2	21	12	0	0	7	13	11	11	97
実習生	3	18	120	49	6	20	0	0	10	15	7	9	257
一 般	47	52	45	35	38	39	0	0	41	34	45	47	423
合 計	81	98	183	98	95	89	0	0	69	71	75	72	931

(12) 数値目標

（目標） 稼働率97.5%、平均介護度4.0 → （実績） 稼働率97.6%、平均介護度3.88 = 稼働率0.1%達成、介護度未達成
（目標） 時間外手当の前年10%減 → 未達成…介護職員不足による、職員補充ができていないため

9. 慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型：定員80名）

(1) 利用状況

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)	
		最低	52	最高	97	平均	82.9	入所	退所	慈啓会	その他	男	女
男	8							3	8	8	1	男	3.97
女	72	最低	62	最高	101	平均	86.9	35	28	60	14	女	3.89
計	80					平均	86.5	38	36	68	15	平均	3.96

・年間平均稼働率 93.7%（1年間の現在数（入院者・外泊者を除く）÷定員×365日）

(2) 防災訓練実施状況（夜間想定） ①10月3日（4施設合同・防火） ②10月10日（4施設合同・防災） ③3月15日（防火）

(3) 行事・クラブの実施状況

- ①定例行事 定期演奏会（札幌）12回、紙芝居20回、いきいきクラブ11回、イトーヨーカドーふれあいショッピング3回、誕生会
- ②季節行事 御施餓鬼法要（春・秋）、クリスマス会、忘年会、新年会等を実施
- ③地域交流・家族交流会等行事
夏祭り、盆踊り、敬老の日式典および家族交流会等を実施
- ④ユニット行事（買物・食事外出）和食レストラン「とんでん」
（散策外出）伏見神社・動物園・大通公園・水道記念館・ともいき保育園・円山クラス・藻岩山・地下歩行空間・桑園イオン・東急百貨店・幌見峠ラベンダー園・ロイズコーヒー・白い恋人パーク
（室内行事）クリスマス会・おやつ作り・ビンゴ大会・茶話会・ハロウィン・スイーツビューッフェ・屋上日光浴

(4) 給食の実施状況

- ①利用者の身体状態や嗜好等、個々に応じた食事内容となるよう配慮した
- ②季節感のある変化に富んだ食事の提供を行うために、行事食に力を入れた
- ③日々の衛生管理の徹底にて、安全な食事の提供に努めた
- ④業務内容の確認と見直しを行い、業務の効率化を図った

(5) 保健衛生

- ①入所者の体調管理・リスク把握のため、看護業務管理日誌を改訂し、全体把握に努めた。
- ②各フロアの情報を勤務者全体で共有するシステムを作り、健康管理とともに異常の早期発見・対処につなげた。
- ③実施するケアの質を維持するため、業務マニュアルを作成し、安全に実施できるための標準化に努める。
- ④医師との連携を強化し、往診時のリストの作成や、対応手順の決定、外来受診時の対応等早期受診につなげ、悪化を最小限になるよう努めた。
- ⑤看取り介護指針の検討に参画し、各職種と問題点や疑問点明確にし指針に反映させ、診療室看護師及び各職種が行動化が可能となるよう意見を集約した。
- ⑥2、3月に3例の看取りを経験した。

(6) 職員研修実施状況

内部研修では事故防止・感染症・排泄介助・認知症ケア・虐待防止・褥瘡予防に関する講習会等に延べ85名が出席
外部研修には認知症介護実践者研修、老人福祉施設研究大会、社会福祉法人の社会貢献研修会等に延べ53名の職員を派遣

(7) 固定資産取得状況等（大規模修繕を含む）

(8) 主要委員会の実施状況

（定例開催） 職種会議、事故防止・感染症対策・身体拘束防止委員会、給食委員会、褥瘡予防委員会、企画委員会、研修委員会、処遇・認知症ケア・ケアプラン委員会、入所検討委員会ほか

(9) 事故発生状況（ユニット型・従来型合計）

転 倒		転 落		ずり落ち		座り込み		変 色		腫 れ	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
12	62	2	27	0	10	0	8	2	64	2	3
擦り傷		出 血		痛 み		誤 薬		そ の 他		合 計	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
10	15	15	5	0	1	30	1	7	40	80	236

札幌市報告対象の事故

ユニット型	25
従来型	13

A=アクシデント I=インシデント

(10) 苦情の状況等 1件（看護職員の態度・関わり方について）

(11) その他

- ①ボランティア 行事やクラブ活動、お話し相手、軽作業等 8団体25個人（活動総人数約1,550人）
- ②世代間交流 大谷幼稚園、白石幼稚園、ともいき保育園の児童による施設訪問、HBC少年少女合唱団のクリスマス交流会
- ③地域交流 札幌医師会コーラスグループ、定期演奏会（毎月：3月から地域町内会からの参加を呼びかけ）
- ④見学 市立大学看護部学生、札幌市新採用職員、北海道カウゼルグセンター生、介護の職場施設紹介見学ツアー等
中央区西まちづくりセンター56名、桑園民生委員21人
- ⑤実習・体験学習 「認知症実践者研修 1団体14名」「社会福祉士実習 4校4名」
「介護職員初任者研修 2団体22名」「介護職員実務者研修 1団体2名」「中学校職業体験 1校4名」
- ⑥木洩れびの家 地域の住民や団体、施設サービス利用者の交流や散歩途中の憩いの場所等を目的とした活動

【木洩れびの家利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	14	16	10	10	24	13	0	0	9	7	9	5	117
家族	8	7	2	2	6	5	0	0	2	2	3	0	37
職員	9	5	6	2	21	12	0	0	7	13	11	11	97
実習生	3	18	120	49	6	20	0	0	10	15	7	9	257
一 般	47	52	45	35	38	39	0	0	41	34	45	47	423
合 計	81	98	183	98	95	89	0	0	69	71	75	72	931

(12) 数値目標

（目標） 稼働率96.5%、平均介護度4.0 → （実績） 稼働率93.7%、平均介護度3.96 = 稼働率未達成、介護度未達成
・・・入院の増加

（目標） 時間外手当の前年10%減 → 未達成・・・介護職員不足による、職員補充ができていないため

10. 慈啓会短期入所生活介護事業所（ユニット型：定員10名）

(1) 利用状況等

	利用のべ人数	利用のべ日数	平均利用日数	利用者介護度								
				支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	申請中等	計
男	100	394	3.94	0	0	23	53	14	3	5	2	100
女	489	2,404	4.91	3	7	115	128	89	51	89	7	489
計	589	2,798	4.75	3	7	138	181	103	54	94	9	589

・平均稼働率 80.4%（1年間の利用者数÷定員（10名）×366日）

(2) 食事数及び送迎状況

送迎回数			食事数			
迎え	送り	合計	朝食	昼食	夕食	合計
402	383	785	2,278	2,764	2,299	7,341

(3) 防災訓練実施状況

(4) 行事・クラブの実施状況

(5) 給食の実施状況

(6) 保健衛生

(7) 職員研修実施状況

特養と同内容のため省略

(8) 固定資産取得状況等（大規模修繕を含む） なし

(9) 各委員会等の実施状況

特養と同内容のため省略

(10) 事故発生状況（ユニット・従来型合計）

転倒	転落	すり落ち	座り込み	変色	腫れ		
A	I	A	I	A	I	A	I
1	3	0	2	0	0	0	0
擦り傷	出血	痛み	誤薬	その他	合計		
A	I	A	I	A	I	A	I
0	0	0	0	0	1	0	3
						5	6

札幌市報告対象の事故

ユニット型	4
-------	---

A=アクシデント I=インシデント

(11) 苦情の状況 なし

(12) 数値目標

（目標）稼働率80.0%、 → （実績）稼働率80.4% = 達成

11. 慈啓会デイサービスセンター（一般型）

(1) 利用状況（平成30年3月末日現在）

	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
実人員	7	20	32	15	7	1	0	88
延利用数	516	1282	3658	1579	553	174	85	7,847

(2) 年度内新規・廃止利用者

	合計
新規利用者	34
廃止利用者	26

(3) 年齢（平成30年3月末日現在）

	在籍者	最低	最高	平均
男	16	73	92	83
女	66	75	98	88
合計	82			86

(4) 稼働率

	平均/定員	稼働率
一般型	25.2人 /35名	72.2%

(5) 苦情数・事故数

苦情数 - 0件
事故数 - 7件

※原則、利用中断より3ヶ月をもって廃止とする。

(6) 行事の実施状況

- ・誕生会（毎月1週間） ・風呂の日（毎月第4週目の1週間）
- ・4月（お花見バスレク） ・5月（花見バスレク） ・6月・7月（社会科見学日糧パン・札幌ファクトリー） ・8月（夏祭り） ・9月（敬老会） ・10月（紅葉バスレク） ・11月（回転寿司なごやか亭） ・12月（クリスマス会） ・1月（初詣・北海道神宮頓宮） ・3月（昼食作りレク）おにぎり作り

<毎月>

- ・生き生き体操&ゲーム（毎日） ・個別機能訓練（毎日） ・定期演奏会（最終週） ・茶道教室（毎月金曜日2回実施） ・紙芝居（第3水曜日） ・長栄会踊りと唄（毎月1回）
- ・レクリエーションボランティア（毎週水・土曜日） ・外出レクボランティア（随時）
- ・傾聴・整髪・配膳ボランティア（毎週月・火・水・金曜日） ・麻雀ボランティア（毎月第2月曜日）

(7) 行事食の実施状況

- ・誕生会食 ・食事作りレク ・夏祭り ・敬老会 ・クリスマス会 ・新年会（鍋） ・昼食作りレク（おにぎり作り）

(8) 職員研修実施状況

- 「認知症実践者リーダー研修」
- 「コミュニケーションスキル向上」
- 「認知症の脳のしくみを理解する」

(9) 実習生受け入れ状況

- ・介護福祉士等実習生 15名 / 介護等体験職場実習 5名

(10) 数値目標

（目標）稼働率74.8% → （実績）稼働率72.2% = 稼働率未達成

※他事への営業不足が懸念される、今年度は営業活動、一般への統合、リハビリの充実、自立支援に向けた介護サポートを目標に行う

12. 慈啓会デイサービスセンター（認知症対応型）

(1) 利用状況（平成30年3月末日現在）

	要支援		要 介 護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
実人員	0	0	2	2	5	3	0	15
延利用数	0	0	36	220	463	351	47	1,117

(2) 年度内新規・廃止利用者

	合計
新規利用者	6
廃止利用者	7

(3) 年齢（平成30年3月末日現在）

	在籍者	最低	最高	平均
男	0	0	0	0
女	12	80	97	90
合計	12			90

(4) 稼働率

	平均/定員	稼働率
認知症	3.7人 /12名	25.2%

(5) 苦情数・事故数

苦情数 － 1件
事故数 － 8件

※原則、利用中断より3ヶ月をもって廃止とする。

(6) 行事の実施状況

- ・誕生会（毎月1週間） ・風呂の日（毎月第4週目の1週間）
- ・4月（お花見バスレク） ・5月（花見バスレク） ・6月・7月（社会科見学日糧パン・札幌ファクトリー） ・8月（夏祭り） ・9月（敬老会） ・10月（紅葉バスレク） ・11月（回転寿司なごやか亭） ・12月（クリスマス会） ・1月（初詣・北海道神宮頓宮） ・3月（昼食作りレク）おにぎり作り

<毎月>

- ・生き生き体操&ゲーム（毎日） ・個別機能訓練（毎日） ・定期演奏会（最終週） ・茶道教室（毎月金曜日2回実施） ・紙芝居（第3水曜日） ・長栄会踊りと唄（毎月1回）
- ・レクリエーションボランティア（毎週水・土曜日） ・外出レクボランティア（随時）
- ・傾聴・整髪・配膳ボランティア（毎週月・火・水・金曜日） ・麻雀ボランティア（毎月第2月曜日）

(7) 行事食の実施状況

- ・誕生会食 ・食事作りレク ・夏祭り ・敬老会 ・クリスマス会 ・新年会（鍋） ・昼食作りレク（おにぎり作り）

(8) 職員研修実施状況

- ・「認知症の脳のしくみを理解する」

(9) 実習生受け入れ状況

- ・認知症介護実践者研修 6名 / 認知症実践者リーダー研修 2名

(10) 数値目標

（目標）稼働率45.0% →（実績）稼働率25.2% = 稼働率未達成

※今年度末を以て、デイサービスセンター一般型への統合

13. 慈啓会訪問介護

(1) ホームヘルパー数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤ヘルパー	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
登録ヘルパー	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7
合計	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10

(2) 利用人員と要介護度別利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	実人員	平均実人員											
	延利用数												
要支援 1	31	32	30	31	28	29	28	29	29	26	27	27	29
	153	164	149	148	143	118	140	138	133	114	115	118	1,651
要支援 2	20	22	23	23	20	24	23	23	23	24	22	22	18
	104	121	122	109	104	113	121	122	118	125	113	118	1,193
要介護 1	10	10	11	13	11	12	12	11	12	12	13	15	11
	90	98	91	96	74	75	80	64	66	64	65	75	1,128
要介護 2	7	9	11	11	13	13	13	13	15	15	14	14	11
	47	64	81	61	83	86	97	101	112	101	101	129	1,211
要介護 3	3	3	4	3	3	2	2	2	1	1	2	2	2
	45	33	27	22	21	16	16	8	4	3	8	8	363
要介護 4					2	2	2	1	2	2	2	2	1
					8	24	22	16	21	23	9	13	64
要介護 5	1	1											2
	2	4											6
事業対象者				2	3	3	4	4	4	4	4	4	32
				13	18	11	20	22	17	25	24	23	173
合計	72	75	79	83	80	85	84	83	86	84	84	84	981
	441	475	470	449	451	443	496	471	471	455	435	484	5,541

(3) 派遣内容別件数 (延件数)

H30年4月現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業相当型	12	45	69	88	102	113	158	171	180	187	211	263	1,599
予防訪問介護	245	240	206	182	158	127	119	108	87	77	41	0	1,590
身体介護	32	41	43	37	45	53	47	50	56	50	35	39	528
生活援助	109	111	83	79	77	81	94	66	74	70	60	98	1,002
身体生活	43	47	69	67	69	69	76	78	74	71	88	94	845
合計	441	484	470	453	451	443	494	473	471	455	435	494	5,564

(4) 研修・会議等の実施

- ・ 11/18 実地指導
- ・ 月 1 回の定例スタッフミーティング、研修等実施状況

	内部研修	主な外部研修
4月	法改正/個人情報保護法	
5月	リスクマネジメント/緊急時の対応	
6月	法人研修「ストレスチェック」	介護労働安全センター「雇用管理責任者研修」
7月	担当利用者の情報分析、考察	
8月	記録	
9月	記録	コーチング研修
10月	高齢者虐待、身体拘束予防	
11月	高齢者の栄養について	
12月	調理実習/感染・食中毒予防	
1月	病気の理解	「薬の知識」介護労働安定センター主催
2月	ひざの痛みについて	「札幌市介護予防日常生活総合支援事業」
3月	介護制度に伴う事業に係る内容/ひやりハット報告	ホームヘルプサービス事業経営セミナーH30年度報酬改定

- ・ 他事業所との連携
- ・ 自己研鑽のための研修参加
- ・ 「アクティブラーニング法を学ぶ」 他

(5) 数値目標

(目標) 利用者実績の平均人数 72~73人 → (実績) 81.75人 = 達成

14. 慈啓会介護総合相談センター

(1) 契約件数

契約者合計
205

(平成30年3月末日現在)

(2) 契約者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
新規契約者	2	7	5	8	6	8	3	3	4	2	0	0	48	
解約者	2	5	2	2	9	1	4	0	4	0	1	3	33	
内 訳	死亡	1	1	0	0	3	0	1	0	1	0	0	9	
	入院	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	入所	0	1	0	2	3	0	1	0	2	0	1	10	
	転居	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	包括移行	0	1	1	0	0	1	2	0	1	0	0	1	7
	小規模多機能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	
契約者合計	190	192	195	201	198	205	204	207	207	209	208	205		

(3) ケアプラン作成者 (利用票・提供票作成者)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	54	55	57	57	55	58	63	63	62	61	61	60	706
要介護2	38	39	40	42	43	43	45	42	41	40	40	37	490
要介護3	20	18	15	16	15	12	12	10	10	10	8	10	156
要介護4	5	8	9	9	7	7	7	7	8	8	6	7	88
要介護5	2	2	4	4	4	4	5	5	5	4	4	4	47
合 計	119	122	125	128	124	124	132	127	126	123	119	118	1,487

(4) 要介護認定申請代行

新規申請	更新申請
3	88

(5) 相談経路

電話(夜間・祝日)	来 所	訪 問	合 計
1,140(71)	57	1,802	2,999(71)

(6) 活動状況

①情報伝達会議・研修

会議	48
研修	24

②サービス担当者会議

219

(7) 予防支援事業

実施していません。

(8) 数値目標

(目標) 1ヶ月平均人数 132人~133件 → (実績) 123人 = 未達成
 ・ ・ ・ 2月と3月にケアマネ1名が欠員で新規受け入れができなかった
 利用者の入院・入所が多かった

15. 介護予防センター旭ヶ丘

(1) 総合相談支援業務

【総合相談】

①相談件数

電話	訪問	面談	その他	計
99	9	0	4	0

②相談内容(重複あり)

介護保険制度	介護予防	保険福祉サービス	権利擁護	消費者被害	認知症	高齢者虐待	心身の健康	住まい
22	69	1	0	0	10	0	1	3

家族の疾病	その他
2	24

③相談結果

実態把握	介護予防教室参加	地域介護予防活動参加	介護保険申請	包括紹介	関係機関紹介	終了
5	36	5	2	6	9	49

【地域ケア体制の構築】

地区地域ケア会議(運営主体)	1回
区地域ケア推進会議(参加)	2回
地区連絡会議(運営主体)	9回
区連絡会議(運営主体)	13回
地区組織との連携	11回
その他関係機関との連携(中央区介護予防C連絡会含む)	77回

(2) 介護予防普及啓発業務

事業別実施件数

介護予防教室	研修会	相談会	イベント	計	参加者延数
50	2	0	3	0	1,749

(3) 地域介護予防活動支援業務

①介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援

民児協	福まち	町内会組織	老人クラブ	サロン	自主グループ	その他	計	参加者延数
0	2	0	2	15	10	1	0	399

②支援した地域活動組織等のうち 自主活動化した数

自主化の数
1

③ボランティア等人材 育成研修(一般住民等)

実施回数	参加者数
4	15

④その他

シンポジウム・各種研修等	7回
自主研修(介護予防センター従事者情報交換会等)	3回

(4) 数値目標

中央区保険支援係と中央区第3包括支援センターとの地区地域ケア会議を2回 = 達成

16. 札幌市稲寿園 特別養護老人ホーム（定員100名）

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)	
		最低		最高		平均		入所	退所	慈啓会	その他	男	女
男	13	最低	76	最高	93	平均	83.0	4	4	4	3	男	4.08
女	86	最低	59	最高	103	平均	87.3	21	22	21	16	女	3.95
計	99					平均	86.8	25	26	25	19	平均	3.99

・月平均稼働率 96.8% (H28年度 96.6%)

【説明】平均稼働率は目標の97%には届かなかったものの、前年度と比べ0.2ポイント向上させることができた。空床期間短縮の取組とともに、看取り介護の再開及び感染症予防を含めた入所者の健康管理の徹底等による入院者の減少が稼働率向上に結びついたと考えている。

(2) 防災訓練実施状況

- 3月12日（自衛消防訓練）、3月16日（防災訓練・夜間想定）

(3) 行事・クラブの実施状況

○全体行事

稲寿園・ふれあいの郷合同夏まつり、敬老の日式典、クリスマス会、節分豆まき、雪明り喫茶、園内売店、歌のコンサート、アニマルセラピー、カラオケコンサート等

○地域交流・家族交流会等行事

手稲神社秋季例大祭、さわらび幼稚園園児訪問、前田中学校職場体験、稲陵中学校職場体験、夏まつり出店、稲陵中学特別支援学級敬老交流会、稲陵中学特別支援学級クリスマス交流会、オープンカフェ(5~10月)

○ユニット行事

- ・趣味活動（塗り絵・折り紙・ちぎり絵・パズル・紙芝居・季節の飾りつけ、DVDコンサート）
- ・誕生会、野外食、出前寿司・ピザ、入居者参加料理作り等（さんま、プリン、カキ氷、わたあめ等）
- ・外出行事（ソフトクリーム、焼肉寿司バイキング、野球観戦等）

(4) 給食の実施状況

- ・給食業務の委託化により、食事提供の質が低下することのないよう、委託業者との密接な関係を構築した。
- ・ご利用者の嗜好や喫食量に合わせた食事となるよう、可能な限りの食材の質や献立への対応と厨房内の衛生安全面への管理に努めた。

(5) 保健衛生

- ・インフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症が疑われる入居者に対し適切な対応を取ることで、施設内のまん延を防ぐことができた。
- ・職員研修等において、感染症予防啓発および実践的な知識・技術向上に努めた。
- ・利用者家族のニーズに沿って協力医療機関との協議を行い、他職種協働により体制を整え看取り介護を再開した。

(6) 職員研修実施状況

平成29年 7月26~27日 全道老人福祉施設研究大会 10月5日 全国老協介護報酬改定セミナー
1月29日 北海道老人福祉施設長研究セミナー … 等 (全45件)

(7) 委員会等の開催

- ・役職者会議・全体説明会等の開催により、施設運営の目指すべき方向性や情報の共有化を図った。
- ・例月の各種委員会や、定期的ケアマネジメントに関する協議等を通じ、多職種間での課題の解決、協働による質の高いサービス提供に努めた

○定期開催委員会（毎月・隔月）

身体拘束廃止対策委員会、事故防止対策（感染症対策・虐待防止含む）委員会、褥瘡対策委員会、処遇委員会、機能訓練委員会、行事委員会、給食委員会、衛生委員会、認知症ケア向上委員会、ケアマネジメント推進協議会

○随時開催委員会

医療的ケア対策推進委員会、防災委員会、広報委員会、研修委員会、苦情解決委員会

(8) 固定資産取得状況等（大規模修繕を含む）

- ・固定資産取得・・・ルーフエアコン2台、エレベーター、冷蔵庫、洗濯機2台、乾燥機2台、電動ベッド6台、WINCAREライセンス2セット等
- ・修繕・・・食器洗浄機修理、2Fエアコン修理、駐車場アスファルト補修、配膳車修理、浴室床タイル補修、LAN工事等

(9) 事故発生状況

転倒・転落：59件、アザ・出血：32件、誤薬：7件、異食：3件、誤嚥・誤飲：2件、その他：2件 計 105件
（札幌市報告事例：8件→転倒による骨折1件、誤薬7件、頭部打撲9件、皮下出血1件）

(10) 苦情の状況等

1件（職員の言動に関する件）

(11) その他

- ボランティア 行事、行事手伝い、お話し相手、業務手伝い等：5団体と1個人(延べ260人)
- 交流 さわらび幼稚園延べ 351名
- 実習・体験学習 介護福祉士実習 2校2名、社会福祉士実習 6校7名、介護職員初任者研修0校0名、認知症介護実践者・認知症介護実践リーダー研修等2校8名

17. 稲寿園短期入所生活介護事業所（定員10名）

(1) 利用状況等

	利用 総人数	利用 総日数	平均 利用日数	利用者介護度								送迎 回数	食事数		
				支1	支2	1	2	3	4	5	計		朝食	昼食	夕食
男	114	669	5.87	0	0	50	13	40	9	2	114	974	2,132	2,574	2,140
女	268	2,008	7.49	3	19	91	93	40	16	6	268				
計	382	2,677	7.01	3	19	141	106	80	25	8	382				

・月平均稼働率 73.3% (H28年度 74.2%)

【説明】専用居室の個室割合を増やし稼働率の向上に努めたが、前年度に比べて年間平均稼働率は0.9ポイント低下した。相部屋でのベッド調整の困難さに加え、利用日直前のキャンセルや定期利用者の終了等への対応がスムーズに進められなかったことが原因と考えている。
※月間の最高稼働率は平成29年12月の81.6%、最低稼働率は平成29年7月の61.6%だった。

(2) 防災訓練実施状況

(3) 行事・クラブの実施状況

(4) 給食の実施状況

(5) 保健衛生

(6) 職員研修実施状況

・・・特養と同内容のため省略

(7) 固定資産取得状況等（大規模修繕を含む）

なし

(8) 事故発生状況

転倒・転落 2件、アザ・出血1件、誤薬2件、異食0件、誤嚥・誤飲0件、その他 0件 計5件
(札幌市報告事例：2件→誤薬2件)

(9) 苦情の状況等

0件

(10) その他

・・・特養と同内容のため省略

18. 稲寿園デイサービスセンター

(1) 利用状況等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度		
開設日数	25日	27日	26日	26日	27日	26日	26日	26日	25日	24日	24日	27日	309日	309日		
予防通所登録者数	25	25	28	27	28	27	28	28	27	29	30	34				
予防延利用者数	124	131	139	139	158	152	155	162	137	133	150	164	1,744	1,384		
予防平均利用者数	4.9	4.8	5.3	5.3	5.8	5.8	5.9	6.2	5.4	5.5	6.2	6.0	5.6	4.4		
通所介護登録者数	80	76	80	78	79	80	79	83	83	79	79	81				
通所延利用者数	508	525	563	535	558	525	528	560	509	470	478	467	6,226	6,280		
通所平均利用者数	20.3	19.4	21.6	20.5	20.6	20.1	20.3	21.5	20.3	19.5	19.9	17.2	20.1	20.2		
利用者数内訳	要支援	1	45	61	55	47	49	43	40	41	36	35	42	44	538	483
		2	79	70	84	92	109	109	115	121	101	98	108	120	1,206	901
	要介護	1	204	211	220	205	227	209	213	232	209	196	200	206	2,532	3,182
		2	218	226	239	221	220	217	227	232	228	211	224	220	2,683	2,053
		3	63	70	79	75	75	64	60	64	60	58	49	38	755	621
		4	15	12	22	31	33	33	28	32	12	5	5	3	231	268
		5	8	6	3	3	3	2	0	0	0	0	0	0	25	156

【説明】

- ① 予防と一般を含めた年間を通しての1日の平均利用者数は25.79人であった。(前年度より1.12人増)
- ② 利用廃止により減少した分の補充の多くが要支援であった為、予防が大幅に増加した。
平成29年度の年間延利用者数は、前年度より306名(一般は54名減少、予防は360名増)増加した。
- ③ 平成29年度は新規登録者が41名、廃止は31名であった。

(2) 防災訓練実施状況【1回】

- ① 3月16日

(3) 行事实施状況

- ・歌のコンサート、誕生会などは、通例の行事として毎月実施した。
- ・4月、3月には、前年度同様、小樽「かま栄」のドライブレクリエーションを行い、利用者の参加も多数あった。
- ・5月のお花見は園庭にて1週間行った。
- ・6月は白い恋人パークでの買い物と散策をを実施した。
- ・7月には、毎年恒例の縁日夏祭りにて、昔懐かしのゲーム大会を実施した。
- ・8月には、昨年に引き続き「アイス外食」で夏の「食」と「涼」を楽しんでいただいた。
- ・9月の敬老週間では、利用者参加型のクイズ大会と賀寿者への表彰を行い、好評だった。
- ・10月には、スーパーアークスへの買い物行事を実施した。
- ・11月には、すたみな太郎への外食行事を行い、バイキング食を楽しまれた。

(4) 給食の実施状況

委託会社に替わったが、管理栄養士の協力を頂きながら、四季折々の季節感ある食材を使用し、彩りや盛りつけを工夫した食事の提供を心掛けた。その他、野外食や日替わり鍋など季節感のある食事提供の企画に協力していただいた。

(5) 研修実施状況

今年度は実績なし。

(6) その他

- ・手稲区における通所サービス全体の活性化と交流を目的とした組織運営(手稲区通所サービス連絡会)を行った。

ボランティア実績	今年度	前年度
延べ日数	280	291
延べ人数	314	321

- 他
- ・ピアノ演奏ボランティア(火曜日の午前)、コンサートボランティア(毎月)
 - ・フラダンス、日本舞踊ボランティア

(7) 固定資産取得状況等

- ・購入なし

19. 稲寿園訪問介護

(1) 月別派遣状況等(前年度比較)

【説明】 前年度に比べて利用契約の増加により、派遣回数、派遣時間とも大きく増加した。

派遣回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	233	255	299	274	294	286	315	312	291	261	260	285	3,365
平成28年度	227	182	204	218	228	208	174	207	192	196	217	278	2,531

派遣時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	233.0	249.5	280.0	257.5	270.5	257.5	294.5	288.0	269.0	246.5	238.5	265.5	3,150.0
平成28年度	257.8	206.7	228.8	236.0	248.8	208.3	175.7	210.1	187.2	189.3	211.0	273.6	2,633.3

(2) 介護度別利用者状況

【説明】 前年度に比べて要介護の方の利用割合が徐々に増加している。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者		0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	12
要支援	1	3	3	1	2	2	2	2	2	2	2	1	0	22
	2	5	5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	45
要介護	1	16	17	16	16	16	17	17	20	21	19	17	17	209
	2	10	9	10	11	11	9	9	9	9	9	9	8	113
	3	2	2	2	1	2	1	3	3	2	1	2	2	23
	4	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	19
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		38	38	37	37	38	36	36	39	39	36	35	34	443

(3) 職員研修・カンファレンス状況

①定期研修 : 毎月1回実施

②カンファレンス : 毎月2回実施

20. 稲寿園介護総合相談センター

(1) 相談対応方法

【説明】 相談件数は全体として増加傾向にあり、特に電話での相談が増えている。

(単位：人)

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
内 訳	訪問	124	170	160	166	158	168	182	170	161	156	159	172	1,946
	来所	1	3	0	2	2	4	1	0	3	2	1	4	23
	電話	38	31	35	43	45	57	43	55	60	65	62	76	610
合 計	163	204	195	211	205	229	226	225	224	223	222	252	2,579	

(2) 契約者推移

【説明】 病院や家族等からの相談の他、手稲区地域包括支援センターや中央区包括支援センターとの連携を図ったことで、着実な利用者の増加に繋がった。

(単位：人)

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約者	10	11	9	8	7	2	3	6	2	5	2	9	74
解約者	10	5	3	2	2	1	0	0	2	0	4	1	30
内 訳	死亡	0	2	1	1	0	0	0	2	0	1	1	8
	長期入院	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7
	入所	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	4
	転居	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6
	事業所変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	包括移行	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	小規模多機能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
契約者合計	138	144	150	156	161	162	165	171	171	176	174	182	

(3) 月別利用者数

【説明】 地域包括支援センターから委託を受けた要支援利用者の介護度の重度化や、同センターからの要支援から要介護となった方の当事業所への紹介も増えている。

(単位：人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
要支援1	H29年度	15	15	13	11	13	15	15	16	15	16	15	16	175
	H28年度	8	9	9	15	15	14	15	16	16	15	19	14	165
要支援2	H29年度	17	16	19	22	20	21	21	23	20	18	16	16	229
	H28年度	12	11	12	14	12	12	12	14	18	19	15	17	168
要介護1	H29年度	41	44	47	48	49	53	55	55	59	55	51	58	615
	H28年度	44	43	44	44	47	50	49	49	48	46	43	42	549
要介護2	H29年度	37	40	39	40	37	38	37	37	38	34	38	36	451
	H28年度	31	30	32	31	35	33	31	34	32	36	34	35	394
要介護3	H29年度	10	11	14	15	16	17	18	18	19	20	17	15	190
	H28年度	10	12	10	12	14	12	12	12	11	11	8	9	133
要介護4	H29年度	4	4	4	3	4	4	2	2	2	2	2	3	36
	H28年度	3	1	1	1	1	2	4	4	4	4	3	3	31
要介護5	H29年度	2	1	1	1	2	1	2	2	2	2	2	2	20
	H28年度	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2	16
合 計	H29年度	126	131	137	140	141	149	150	153	155	147	141	146	1,716
	H28年度	109	107	109	118	125	125	125	130	130	132	124	122	1,456

(4) 研修会等出席状況

内部研修のほか、「手稲区ケアマネジメント能力向上研修会」等の外部研修に出席した。

(5) その他

平成29年度特定事業所集中減算は前期、後期ともに指摘事項、減算なし

21. 軽費老人ホームA型 札幌市菊寿園（定員50名）

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者	
		最低	65	最高	90	平均	79.5	入 所	退 所	慈啓会	その他
男	12	最低	65	最高	90	平均	79.5	3	0	0	3
女	27	最低	65	最高	99	平均	83.6	7	9	1	16
計	39					平均	81.6	10	9	1	19

・平均在籍者数 39.7名 79% 平均介護度 0.88 (参考に平成28年0.68)

(2) 防火訓練実施状況

- ① 4月26日（夜間想定） ②6月30日（公団・乳児園と合同）
③10月30日（夜間想定：公団・乳児園と合同） ④1月22日（防災ビデオ上映）

(3) 行事・クラブの実施状況

- ①定例：誕生会、カラオケ月2回（1回は講師来園）、クラブ活動（花札、カルタ、トランプ）、買物の日、映画会、ラジオ体操、介護予防体操、介護予防教室、全体懇談会、ゲーム大会（輪投げ・ストラックアウト）、生き生きクラブ（脳トレ・筋トレ）、ちぎり絵教室、園内ショッピング（食品、衣類、薬局）
②季節行事：バスレク、夏まつり、御施餓鬼法要、忘年会、新年会、百人一首大会、すき焼きの日、秋のバイキング、きらく会行事、敬老の日式典・祝宴（お好み寿司）、ショッピングデー（園車使用）、クリスマスランチ、手巻き寿司の日、もちバイキング、かき氷の日、初詣、鍋の日、ジンギスカンの日、節分豆まき、雛祭りバイキング
③その他：各種ボランティア・訪問・招待・交流会（乳児園、保育園等）・中学生職場体験の受け入れ

(4) 給食の実施状況

給食時間 朝 7:30～ 昼 12:00～ 夜 17:30～

ご馳走の日・バイキング・セレクト食等の実施 ②ADL低下者に配慮した対応（時間前の誘導、配下膳の一部介助等）

(5) 保健衛生

- ①嘱託医による定期診察、定期処方及び臨時処方による治療。
②施設内感染防止対策として、手洗い（消毒殺菌水使用）、うがい励行の啓発、環境の保清化、次亜塩素酸による各居室ドアノブ、手すり等の消毒、手指消毒液を玄関・食堂前に設置、適切な手洗いについて職員・利用者に講話実施。
③インフルエンザ予防接種を積極的に行い、うがい・手洗い等で冬期間の風邪予防。
④週1回血圧測定、2ヶ月1回体重測定、年2回健康診断を行い健康保持。
⑤認知症、ADL低下者への対応（洗濯・掃除・入浴の一部介助）。
⑥介護予防に関する保健指導、介護予防教室への参加推進、健康講話の開催。

(6) 職員研修実施状況

養護・軽費老人ホーム職員交流研修会、札幌市老人福祉協議会 生活相談員研修会、高齢者の救命講習会、結核・感染症研修会、平成29年度特定給食 施設等研修会

(7) 固定資産取得・処分状況（構築物）

なし

(8) 大規模修繕・改修

ボイラー施設系統デジタル温度調節、入居者居室電気子メーター、318号・215号室内装改修工事 他

(9) その他

アンケートによる満足度調査の実施、介護予防体操の継続実施（週に1回）
地区の介護予防センターとの連携、札幌市菊寿園運営協議会実施

22. 軽費老人ホームB型 札幌市拓寿園（定員50名）

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者	
		最低	70	最高	81	平均	73.3	入 所	退 所	慈啓会	その他
男	8	最低	70	最高	81	平均	73.3	4	2	0	3
女	34	最低	64	最高	89	平均	78.3	5	6	0	8
計	42					平均	77.3	9	8	0	11

・平均稼働率 82.00%(毎月1日現在在籍数)

(2) 防火訓練実施状況

1. 9月28日（夜間想定）
2. 3月22日（昼間想定）

(3) 行事・クラブの実施状況

・定例行事・クラブ活動

誕生会（月1回）、全体懇談会（毎月）、血圧測定（月1回）、カラオケクラブ（月2回）、園長杯ゲートボール大会（5回）、ゲートボールクラブ（随時）

・季節行事

野外昼食会（お花見）、いちご狩りツアー、夏祭り、秋の日帰り旅行、敬老会、クリスマス・忘年会
新年交礼式、新年会（鍋の日）、節分（豆まき）、雛祭り茶話会

・その他

福祉制度講話会（月1回）、介護予防教室（月2回）、ふまねっと運動（月2回）、きらく会ゲーム大会、屯田地区ふれあい福祉週間輪投げ大会・屯田地区一人暮らしお年寄りとの昼食懇談会、日赤奉仕団園内清掃、有朋高校生との交流会・夏祭りや除雪ボランティア受入れ、屯田北児童会館・屯田児童会館の児童との交流会、きらく会演芸交流会、買い物ツアー、健康歩こう会、リンパマッサージ教室、映画鑑賞会、理事長杯スポーツ大会

(4) 給食の実施状況

・なし

(5) 保健衛生

- ・協力医（ふるや内科）及び各医療機関と連絡体制を密にし、疾病の早期発見、早期治療に努めた。
- ・要介護要支援認定者等に対して、担当ケアマネジャー及び各福祉医療機関との連携に努めた。
- ・10・3月の年2回、健康診断を実施した。
- ・インフルエンザ予防接種は、10月から11月にかけて、協力医又はかかりつけ医にて実施するように日頃より呼びかけし、希望者に実施。
- ・食中毒やノロウイルス等の感染症予防は、全体懇談会での啓発等にて指導・注意を呼びかけた。

(6) 職員研修実施状況

- ・全国老人福祉施設大会（高知大会）、高齢者虐待防止推進研修会、全道老人福祉施設研究大会、法人職員研修会、ふまねっとスキルアップ研修会、危険物取扱者保安講習会、防火管理技能講習会、救命講習会、札幌市老人福祉施設生活相談員研究会に参加。

(7) 固定資産取得・処分状況（構築物）

- ・避難用すべり台屋根設置：3月設置

(8) 大規模修繕・改修

- ・入居に伴うリフォーム工事（5室）
- ・共用部、各居室玄関床材張替え工事
- ・暖房ボイラー配管修理工事（異音）
- ・給湯ボイラー配管修理工事（水漏れ）

(9) その他

- ・アンケートによる満足度調査の実施：1月
- ・床WAX清掃の実施（年1回）
- ・札幌市拓寿園運営協議会開催：3月

23. 慈啓会老人保健施設（入所定員90名・通所定員40名）

(1) 利用状況等

【施設サービス】

在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)				年度内入退所		年度内入院先		介護度 (年度末現在)	
	最低	最高	平均	入所	退所	慈啓会	その他	男	女	
男 12	66	93	82.5	21	19	9	3	男 2.07		
女 70	71	106	89.4	91	95	40	23	女 3.10		
計 82			88.5	112	114	49	26	平均 2.95		

【短期入所療養介護】

在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度内)				年度内入退所	
	最低	最高	平均	入所	退所	
男 1	78	93	30	30		
女 0	74	96	34	34		
計 1			64	64		

【通所リハビリテーション】

利用者数 (年度末現在)	利用実数 (3月分)	年 齢 (月末現在)				平均
		最低	最高	平均		
男 10	男 32	54	88	77.6		
女 13	女 41	65	96	82.9		
計 23	計 73			80.8		

(2) 防災訓練実施状況 【3回実施】

(3) 年間行事・交流会・趣味活動の実施状況

【行事・交流会】 誕生会、外出訓練、夏祭り、敬老会、鍋会、おやつ作り、新年会、映画鑑賞会、アニマルセラピー、保育園・幼稚園児・「職業体験学習」で中学生の受け入れ

【趣味活動】 生け花、麻雀、カラオケ、手芸、折り紙・うた・手遊び、ほか

(4) 委員会及び会議

①行事 ②生活向上 ③食事 ④感染・研修 ⑤安全推進・身体拘束ゼロ・褥瘡予防
⑥ケアプラン検討 ⑦広報 ⑧苦情処理 ⑨施設運営会議 ⑩リーダー会議 ⑪管理者会議

(5) 給食の実施状況

給食時間 朝 8:00 昼 12:00 タ 18:00

- ・保温食器の導入等による適温適時給食の実施
- ・嗜好調査の実施（4～12月）
- ・行事食では季節感、食材のバリエーション等、食事による利用者の精神的活性化
- ・個々の身体状況を考慮した食形態や栄養補助食品の工夫等
- ・特別食（治療食）への対応
- ・主食、デザートバイキングの実施

(6) 保健衛生

- ・毎食後の口腔ケアを継続。
- ・感染症の疑いのある時は速やかに隔離対応し、拡大を防いだ。
- ・インフルエンザ予防接種の実施と入所時の肺炎球菌ワクチン接種。
- ・気温・湿度の管理をしっかりと行い、感冒流行の兆しが認められた時は早期対応を行い、罹患者を最小限にとどめるよう努めた。

(7) 職員研修実施状況

【施設外研修】

- ・北海道老人保健施設大会
- ・リスクマネジメント研修
- ・認知症ケア研修
- ・認知症実践者研修
- ・その他施設外研修に参加

【施設内研修】

- ・食中毒研修
- ・事故防止
- ・衛生的手洗い
- ・排泄ケア
- ・在宅復帰パス作成までの取り組み
- ・褥瘡予防
- ・海外研修報告
- ・毎日の認知症ケアについて
- ・その他

(8) 事故発生状況及びヒヤリハット

事故報告 : 平成29年度累計78件（転倒27件、外傷16件、ずり落ち2件、他33件。うち、骨折事故4件）
ヒヤリハット : 132件

(9) 苦情の状況等

計6件（接遇5件・その他1件）

24. 慈啓会病院

I 基本方針

法人の経営理念及び当院の理念に沿った、地域の方々により信頼される病院をめざし、医療サービスのさらなる向上と経営の安定化を図ることを目的に運営を推進した。

II 重点目標

診療報酬改定や地域包括ケアシステムなど外部環境の変化が激しく、当院にとってもその変化への対応を求められていることから、次のとおり共通目標を掲げ、目標達成をめざして事業を展開し、取り組みを進めてきた。

1. 共通目標

- (1) 急性期以後において、エリアNo.1の医療サービスを提供する。
- (2) サービス業であることを認識し顧客満足度を高める。
- (3) PDCAの活用を推進する。
- (4) 人材の育成に努めリーダーの輩出を促す。
- (5) リスクマネジメントの徹底を図る。
- (6) チーム医療を徹底し、技術精度の向上を図る。
- (7) コスト意識を高め業務改善と効率化を進める。

2. 病院経営に関する事項

(1) 病院経営に関する事項

- ・平成30年度の診療報酬・介護報酬同時改定に対応すべく昨年度取り組んだ「療養病棟ランクアップ」と「3階地域包括ケア病棟転換」については、PDCAの活用で課題の抽出と改善策を幾度となく繰り返して実行している。
- ・外来収入については昨年度比で減少しており、内科外来および施設外来の減少が要因である。
- ・入院収入については病棟転換前および昨年度比では増加しており、入退院数の増加等による患者単価増加が主要因である。今後は複雑化する各病棟の施設基準に対応しながら稼働を上げていくことが課題である。
- ・一般外来患者の増加を含めた収入確保対策として、インフルエンザクーポンによる地域のマーケティング活動、肺炎球菌ワクチン対象者の掘り起こし、サブアキュート・ポストアキュートへのアプローチとしてクリニック及び病院への営業を実施した。
- ・後方支援病院としてのプロモーションとして、札幌市在宅医療協議会の協力を得て、中央区では最初となる「在宅医療後方支援施設と近隣在宅医との懇話会」を開催した。
- ・診療報酬改定における項目について院内で収支バランスを理解させることに努めた。
- ・支出削減対策については、過年度同様に削減意識を高めて取り組んだ。

(2) 患者サービスに関する事項

- ・薬剤、放射線、検査サービス対策は、電子カルテの導入により情報伝達が迅速かつ確実に行うことが可能となり、薬剤の処方や検査等も同様に従来よりも正確でスピーディーな処理が実現できている。
- ・食事療養サービス対策は、行事食を積極的に実施するとともに各病棟で季節にあった食事提供し、患者の皆様喜んでいただけた。
- ・アメニティ対策として、売店、理容室、レストラン等での内容充実と安全確保を図った。
- ・患者、家族との信頼関係対策は、職員間のコミュニケーションを活発に行い、情報の共有化を推し進めるとともに、患者様やご家族様とのコミュニケーションも職員側から積極的に行うよう努めた。

3. 外来・入院状況

(1) 外来について

種別	H28		H29		差	
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
内科外来	6,143	45,223	5,955	43,157	▲ 188	▲ 2,066
精神科外来	610	3,716	587	3,616	▲ 23	▲ 99
健診・ドック	3,127	20,545	3,287	20,249	160	▲ 296
予防接種	2,059	7,203	1,825	6,615	▲ 234	▲ 588
施設外来	20,908	49,113	18,070	45,210	▲ 2,838	▲ 3,903
その他	2,176	6,475	2,148	6,538	▲ 28	62
合計	35,023	132,276	31,872	125,385	▲ 3,151	▲ 6,890

(2) 入院について

	H28	H29	差
入院者数	406	574	168
退院者数	434	560	126

保険請求	転換前・H25~27平均		転換過渡・H28		転換後・H29		H29-(H25~27平均)		H29-H28	
	稼働	金額(千円)	稼働	金額(千円)	稼働	金額(千円)	稼働	金額(千円)	稼働	金額(千円)
2F	43.2	354,260	44.0	360,925	40.7	342,914	▲ 2.5	▲ 11,346	▲ 3.3	▲ 18,012
3F	38.8	309,043	37.3	304,699	32.2	357,112	▲ 6.6	48,069	▲ 5.1	52,413
4西	42.1	270,066	43.4	305,951	41.9	308,695	▲ 0.2	38,629	▲ 1.5	2,745
4東	40.5	284,194	41.0	304,893	38.6	290,597	▲ 1.9	6,403	▲ 2.4	▲ 14,296
5F	51.4	272,016	50.2	269,290	48.3	264,078	▲ 3.1	▲ 7,938	▲ 1.9	▲ 5,212
合計	216.0	1,489,579	215.9	1,545,758	201.7	1,563,396	▲ 14.3	73,817	▲ 14.2	17,638

25. 啓明ともいき保育園

(1) 在籍状況 (90名定員)

	在籍数	入所率 (%)	0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上
4月	95名	105.6	4名	33名	19名	39名
5月	94名	104.4	5名	32名	19名	38名
6月	97名	107.8	6名	33名	19名	39名
7月	99名	110.0	7名	33名	19名	40名
8月	101名	112.2	9名	33名	19名	40名
9月	101名	112.2	9名	33名	19名	40名
10月	101名	112.2	9名	33名	19名	40名
11月	100名	111.1	9名	33名	19名	39名
12月	100名	111.1	9名	33名	19名	39名
1月	100名	111.1	9名	33名	19名	39名
2月	101名	112.2	9名	34名	19名	39名
3月	103名	114.4	9名	36名	19名	39名

(2) 防災訓練実施状況

- ・園児及び職員による避難訓練（通報訓練、消火訓練、地震想定含む）・不審者訓練を毎月実施する。
- ・総合避難訓練は消防の都合で立ち合いはないが、保育園で防火管理者作成で8月に行う。

(3) 行事の実施状況

- ・4月2日(月)、14名の新入園児を迎え、入園お祝い会を開催した。
- 【定例行事】 誕生会(毎月)、季節ごとのお楽しみ会、園医健診(毎月)、歯科健診(年1回)
- 【季節行事】 遠足、お祭りごっこ(おみこし・縁日)、七夕、バス遠足、運動会、生活発表会、クリスマスお楽しみ会、新年お楽しみ会、節分(豆まき)、おみせやさんごっこ、ひな祭り、お別れ会食会、卒園式
- 【その他】 保護者懇談会、保育参観、個人懇談会、観劇(人形劇)、交通安全教室(2回)、絵本わくわくキャラバン、連携保育園(伏見すみれ保育園)との交流
年長児の主な活動(防災センター、シルエット劇場観劇、青少年科学館見学など)
慈啓会特別養護老人ホーム(デイサービス利用者)との交流会～子ども達手作りのおみこしを披露する。外出レク交流(利用者の方が園にきて園児と交流)、慈啓会特別養護老人ホームとの交流会(2回)～オペレッタ、歌、楽器演奏、踊りなどを披露する。

(4) 給食の実施状況

- ・札幌市の基本献立を基に実施し、園児に提供。栄養士と園児と一緒に食事をする機会を多くもつ。
- ・給食便りを発行。子ども達に人気のあるものや季節の食材によるメニューの紹介。
- ・子ども達が意欲的に食に関われるように、年齢ごとに計画した食育の実施と、バイキング・クッキングを行う。

(5) 事故発生状況

肘内障(2件)、頭部打撲(3件)、歯の打撲(2件)、顔の裂傷(1件)、顔の擦過傷(1件)、足の指打撲(1件)

(6) 保健衛生

- ・アタマジラミの発生に伴い、頭髪検査、衣類・寝具の管理、午睡後の掃除などを徹底的に行なう。その都度、保護者に周知し、まん延を防ぐ。
- ・感染症の予防に努め、手洗い・うがいを励行し、共用部分の清拭・消毒を行う。疑わしい場合は児童を隔離して消毒をこまめに行い、拡大感染防止に努める。

(7) 職員研修実施状況

- ・保育園における乳幼児保育内容の研修、給食・食育関係者研修、改訂保育指針研修など。
- ・札幌市私立保育園連盟主催、法人本部の研修会に参加する。幼保小連携推進協議会の研修・申し送り。
- ・内部研修(「コーナー遊び」)を実施。

26. 中央区第2地域包括支援センター・中央区第2介護予防支援事業所

○中央区第2地域包括支援センター

(1) 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	56	54	70	59	75	61	70	46	47	57	64	67	726

(2) 会議開催、参加等

	主催	参加
個別地域ケア会議	4	
個別地域ケア会議の準備会	4	
地区地域ケア会議	3	
地区連絡会議	23	
区地域ケア推進会議	2	
区連絡会議	21	
市地域ケア推進会議		2
①②以外のケース検討会議	0	0
運営推進会議等		30
介護支援専門員連絡協議会		10
地区組織との連携	3	17
医療機関との連携	15	2
その他関係機関との連携	78	37
生活支援コーディネーター等との連携		2
合計	153	100

○介護予防ケアマネジメント業務・指定介護予防支援業務

(1) 登録者推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	776	777	786	788	788	789	790	789	793	791	787	754	
解約者数	20	14	28	15	28	14	18	16	22	22	38	18	253
未利用者	96	90	88	80	87	73	79	82	99	105	119	95	

(2) 給付管理提出数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	21	23	24	25	14	29	22	20	13	20	10	10	231
継続利用数	659	664	674	683	687	687	689	687	681	666	658	649	8,084
合計	680	687	698	708	701	716	711	707	694	686	668	659	8,315

(3) 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談件数	1,221	1,281	1,211	1,127	1,170	1,216	1,310	1,061	1,287	1,102	1,196	1,140	14,322

(4) 活動状況

- ①札幌市・区連絡会議 24回 ②研修会・参加者数 26回／54名（延べ人数）
 ③虐待関係会議（コメンター、初動期評価、ケース、評価） 29回 ④研修会開催・講話 10回

全体のまとめ

- ・年度内の職員異動・休暇等のため、最終的には11名体制（専門職7名、介護支援専門員3名、事務員1名）で運営を行った。
- ・介護予防ケアマネジメント、指定介護予防支援事業における登録者数、継続利用者数ともに横ばい傾向で推移した。
- ・個別地域ケア会議を年度内4回開催し、個別の地域課題の解決に努めた。
- ・住民主体の介護予防活動への支援として、自主運動グループの立ち上げおよび活動推進など予防センターと連携し、地域の自主的な活動を推進することができた。

27. 中央区第3地域包括支援センター・中央区第3介護予防支援事業所

○中央区第3地域包括支援センター

(1) 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	72	72	96	58	81	63	57	62	57	70	67	67	822

(2) 会議開催、参加等

	主催	参加
個別地域ケア会議	6	
個別地域ケア会議の準備会	1	
地区地域ケア会議	3	
地区連絡会議	20	
区地域ケア推進会議	3	
区連絡会議	18	
市地域ケア推進会議		1
①②以外のケース検討会議	1	1
運営推進会議等		59
介護支援専門員連絡協議会		8
地区組織との連携	7	52
医療機関との連携	1	3
その他関係機関との連携	66	25
生活支援コーディネーター等との連携		0
合計	126	149

○介護予防ケアマネジメント業務・指定介護予防支援業務

(1) 登録者推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	973	1016	1019	1043	1033	1018	1012	1012	1019	1036	1016	1022	
解約者数	25	23	25	24	29	28	27	19	29	18	21	22	290
未利用者	75	110	106	108	113	97	100	94	99	107	92	102	

(2) 給付管理提出数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	29	25	32	30	18	25	18	25	31	18	16	15	282
継続利用数	869	881	881	905	902	896	894	893	889	911	908	905	10,734
合計	898	906	913	935	920	921	912	918	920	929	924	920	11,016

(3) 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談件数	1,560	1,469	1,551	1,473	1,631	1,474	1,515	1,465	1,421	1,439	1,306	1,509	17,813

(4) 活動状況

- ①札幌市・区連絡会議 24回 ②研修会・参加者数 26回／39名（延べ人数）
 ③虐待関係会議（コアメンバー、初動期評価、ケース、評価） 24回 ④研修会開催 6回

全体のまとめ

- ・4月より、職員の異動により1名減の14名体制（専門職8名、介護支援専門員5名、事務員1名）で運営を行った。
- ・介護予防ケアマネジメント、指定介護予防支援事業における登録者数、継続利用者数ともに増加した。
- ・個別地域ケア会議を、年度内9回開催することができ、うち、6回地域ケア会議アドバイザーを活用した会議を開催することができた。
- ・自主運動グループの立ち上げ準備を山鼻地区で行い、12月より月2回行うこととなった。
- ・また、幌西地区においても、自主運動グループの立ち上げのための話し合いを行っており、平成30年度初旬に発足予定。
- ・曙地区においては、毎年、単位町内会役員との話し合いを行っており、平成29年度は1回開催することができた。また、区、予防センター、まちづくりセンター、社協、包括の5機関にて“中央区曙福まちほのぼのカレンダー”を作成し、曙在住の単身高齢者や曙見守りサポーター協力店舗に配布をした。